

# ともしび通信



私たちは、見えるものにではなく、見えないものにこそ目を留めます。  
見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。

Ⅱ コリント人への手紙 4章 18節



**CSこどもイースター野外集会 3/27(日) 朝 9:00～9:50**

つくしのセントラルパーク（雨天時 教会ホール）

エッグカードさがし！たのしいゲーム！プレゼントもあるよ！

**イースター(復活祭)礼拝 3/27(日) I 礼拝 10:30～12:00**

「復活のある人生」

II 礼拝 16:00～17:00

町田バプテスト教会  
町田市つくし野 2-31-4 【TEL】042-796-3822

## 集会のご案内

教会の活動は リニューアルをしたホームページでも  
紹介しています。 <http://goodnews194.com>

### 日曜礼拝

多忙な日々の中で、うつむき加減  
になっている顔と心。天を仰いで  
生きる元気を取り戻して下さい。



毎日曜

I AM10:30～11:50  
II PM 4:00～5:00

### 教会学校 (CS)

幼児から大人のクラスで聖書を  
学んでいます。ジョイジョイサン  
ディを月1回、開催しています。

毎日曜 9:00～10:00

毎月第4日曜

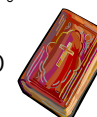
ジョイジョイ・サンディ  
(こども・中高生対象)



### 水曜礼拝・祈り会

週の半ばの夜、静かに神を礼拝し、  
メッセージに耳を傾けます。講解  
説教で順番に学んでいるので聖書  
を知りたい方に最適です。

毎水曜 19:30～21:00



### 壮年会

壮年会では聖書の学びと、賛美集  
会や教会カフェ、日帰り温泉など  
サークル的な活動もあります。

毎月第2日曜  
13:30～15:00



### 婦人会

日曜午後の集いは個々に抱えてい  
る課題を話しあい、喜びも困難も  
分かち合う、穏やかなひと時です。

毎月第2日曜  
13:30～15:00



### 青年会

大学生から社会人まで、月1回、  
ともに集まり賛美をし、語り、励  
まし合い、祈りあう集いの時です。

毎月第2日曜  
13:30～15:00



### 子育てサークルハンナの会

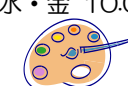
ハンナの会は子育てに疲れたり、  
悩んでいるお母様に元気を与える  
会。お子さまはお預かりします。

毎月第3火曜  
10:30～13:00  
昼食付



### トールペイントサークル

賛美とメッセージのひととき。花  
を描きながら心を解放するひとと  
き。お茶を飲み、語らうひととき。  
毎月第1水・金 10:00～12:15



### 木曜婦人集会

家事、育児、仕事に忙しい女性た  
ちがりのままの自分でいられる  
場所。希望と勇気が与えられる時。  
毎週木曜 10:30～12:00  
第2木曜は婦人礼拝



- ・どの集会も参加自由です。お気軽  
にお越しください。
- ・質問や相談ごとは、どんなことでも  
お尋ねください。
- ・送迎の必要な方は、ご遠慮なくご  
連絡ください。

### 編集後記

町田バプテスト教会では、イース  
ターの集いを用意しています。礼  
拝のテーマは「復活のある人生」  
です。CSこどもイースター野外  
集会ではエッグハントを楽しめ  
ます。ぜひ足をお運びください。



単立 町田バプテスト教会

町田市つくし野 2-31-4  
042-796-3822

●<http://goodnews194.com>  
●[mail:machida@church.email.ne.jp](mailto:machida@church.email.ne.jp)



## イースター（復活）から始まったキリスト教

### 牧師室より 松本俊雄 牧師

キリスト教の中心は日曜日の礼拝ですが、旧約時代のユダヤ人たちの礼拝は安息日と言って土曜日に守られていました。それは創世記1章で神が6日間で世界を創造し、7日目を休まれ「祝福し、聖である」とされた。《創世記2章3節》に由来するものでした。その後、イエス様の時代になって新約聖書の時代、イエス様が十字架で死なれ、預言の通り3日後によりがえり、弟子たちの前にお姿を現わしました。金曜日に十字架にかかり、復活したのが3日後です。ですから、日曜日に当りました。そこで弟子たちは復活を記念して、日曜日に礼拝を持ち、復活の希望を語り合うようになりました。預言されていたとはいえ、イエス様の復活は弟子たちに礼拝の日を変え

る程の驚くべき喜びと、希望を与えました。そして、エルサレムで始まった「復活の希望のキリスト教」はわずか100年足らずのうち、パレスチナ、小アジア（現在のトルコ）、ギリシヤ、ローマ、タルシシ（現在のスペイン）、北アフリカ等ローマ帝国中に伝えられました。それから2000年、世界に福音が伝えられていない国はないと言われるまでにになりました。それは、復活がすべての人の希望であるからではないでしょうか。あなたもイースターに教会に集われぜひこの復活の希望を知ってほしいと願っています。

人は死んだらどうなるのか？この疑問はすべての人が人生の何処かで考えることではないでしょうか。私は今年で70歳（古希）になりました。今まで大きな病気もしたことも無く、また直接生命の危機に遭遇したこともありませんが、だからと言って自分がいつまでも生きるとはあり得ないことです。「生前整理」や「終活」ということが、身近に聞かれるようになりましたが、自分には信仰により「復活」の希望があることを本当に感謝しています。聖書には「わたし（イエス・キリスト）は、よりがえりです。いのちです。わたしを信じ

る者は、死んでも生きるのです。ヨハネの福音書11章25節」と復活があることを、明確に教えています。私は信仰を持って50年、牧師になって34年経ちますが、今まであまり「復活」について語ってこなかったように反省しています。それは「復活」を強調すると何か現実逃避のように誤解されるのではないかと、という思いがあったからです。しかし、よく考えてみれば「死」はすべての人に必ず臨むわけですから、「死と復活」を考えることは現実的に立ち向かう一番大切な事であるべきです。すべての人がイエス・キリストにある復活の希望を持って、自分の死を迎えられることを心から願っています。



#### 私的映画批評

「きみはいい子」

2015年 日本作品  
松本勇哉

「私があの子にやさしくすれば、あの子も他人にやさしくしてくれるの。子どもを可愛がれば世界を平和にできるの。」（劇中の台詞より）

人に一番大切なものは何か。昨年、私は壮大なことを考えなければならなかった。聖書から見つけた結論は「他人にやさしく」。その数ヶ月後に観た作品がこれだった。

この映画は、新米教師、子育て中の母親、一人暮らしの老人の群像劇だ。彼らの側には家族から「わるい子」と言われている子どもがいる。そんな子どもたちが「きみはいい子」として認められ

ていく道筋を描いている。

作品の中で、子どもに寄り添う「一歩」の後押しをするのは必ずしも家族ではない。家族間でも、事件がおこる社会の中で、身近な「他人のやさしさ」で、子ども達の未来に一筋の光を照らすことができる。・・・かもしれない。その可能性に底知れない「希望」を感じた。

映画のラストで新米教師が、桜散る中を走る。その先に見える「一歩」が、多くの人に明るく感じられたらいいと思う。

★この映画を見て泣いた人★子どもが産まれたばかりのパパ（私）、一人っ子のおばあちゃん子（友人）、次に観るあなた・・・かもしれない。



### 婦人会リレーアナタに出会えて嬉しい



長縄静江

転勤の多い主人と結婚しましたが、それは国内各地を巡るものだと思っていました。ところが、今から33、4年前、発展途上国における林業技術支援プロジェクトの仕事が始まり、主人にもフィリピン行き

の声がかかりました。その話を聞いた時、私は子どもたちも小さいし、ことばや環境の違いなど不安でいっぱいでした。しかし主人の一言「・・・外国に行けることはめったにないことだぞ。」に、覚悟を決めて行くことにしました。現地では、12組のプロジェクト支援の

家族が温かく迎えてくれました。この中のリーダーHさん夫妻は、我が家のすぐ隣に住んでいてとても親切で、引越しまもなく私たちにあれこれ教えてくれました。またHさんはこのプロジェクトの家族が寂しくないように、いつも楽しい企画をいっぱい立ててくれました。「住めば都」といわれるように楽しかった思い出の方が多かったように思います。

Hさんは先に帰国しましたが、後でのご夫妻は熱心なクリスチャンだったというのを知りました。これがキリストの香り、無償の愛といわれるものか・・・どこか違う温かさに魅かれたものです。後に私もクリスチヤンになりましたが、ご夫妻の歩みは私のあこがれです。

#### シリーズ

### 私のお気に入りの

My favorite



金子 耕三

このところ北海道での仕事が多くなり、ついには昨年7月からは千歳空港の近くにアパートを借りて、道内で仕事をする時の拠点にするようになりました。

さて、千歳のアパートから、郊外に10分も車を走らせれば、北海道らしい、広大な風景が広がっています。ある日の週末、朝のドライブに出た私は、道端にある農産物の直売所に車を止め、取れたてのトウモロコシを、10本も購入しました。実はコーンポタージュを作ろうと、思い立ったのです。

私にとって、コーンポタージュは、特別なスープです。それを口にするたびに、今は亡き父を思い出すからです。小学生

の時、父と一緒に初めて新幹線に乗りました。父は公立中学で教師をしていましたが、当時の教員は給料がとても低く、暮らし向きは質素そのものでした。そんな時代に、ある日、父と新幹線で大阪まで出かけることになりました。それだけでも驚沢なことだったので、父は「父は新幹線の中でお腹はすいてないか」と言っていて、私を食堂車に連れて行ってくれたのです。その時、父から勧められて初めて飲んだのがコーンポタージュでした。それがどれほど嬉しかったか、父には一度も話したことがありませんでしたが、その暖かいスープを飲ませてもらった時、大げさに言えば、私は父から愛されていると感じたのです。

父は60歳を過ぎてからクリスチャンになり、一昨年の夏、地上の生涯を終えて天国へ旅立ちました。父が亡くなった時に蘇ってきた数々の思い出の中で、ひときわ輝いていたのは、やはりコーンポタージュを初めて飲んだあの日の事でした。